

IPCC シンポジウム 『第6次評価報告書から考える私たちと気候変動』 の開催について

気象庁は、文部科学省、農林水産省及び環境省と共同で IPCC シンポジウム『第6次評価報告書から考える私たちと気候変動』を開催します。参加費無料で、事前申込が必要です。

1. 概要

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は現在、第6次評価報告書サイクルの最終盤にあり、昨年8月に第6次評価報告書(AR6)の第1作業部会(WG1)報告書(自然科学的根拠)、本年2月に第2作業部会(WG2)報告書(影響、適応、脆弱性)、4月に第3作業部会報告書(緩和策)を公表し、気候変動に関する最新の知見を世界に発信しています。

本シンポジウムでは、WG1 と WG2 の共同議長を招き、報告書の知見を紹介いただくとともに、それら報告書の国内執筆者を交えて、これまでの報告書と来年公表予定の統合報告書への展望について議論いただきます。

- ◆ 日 時 令和4年11月30日(水) 14時00分～16時30分
- ◆ 開催方式 対面方式及びオンライン方式の併用(いずれも参加費無料)
- ◆ 会 場 東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内3-5-1) D5ホール
- ◆ 主 催 気象庁、文部科学省、農林水産省、環境省
- ◆ 後 援 地球ウォッチャーズー気象友の会ー
- ◆ 参加方法

対面参加、オンライン参加どちらの場合も事前申込が必要です。

対面参加の申込は、先着100名にて締切とさせていただきます。

オンライン参加の申込は、シンポジウム終了時刻まで可能です。

申込方法及びその他詳細な情報については下記ウェブサイトを参照ください。

<https://www.gef.or.jp/news/event/221130ipccsympo>

2. プログラム

◆ 基調講演 1 IPCC の概要(約 20 分)

- ・ 田辺清人(IPCC インベントリータスクフォース共同議長)

◆ 基調講演 2 IPCC AR6 WG2 報告書～影響・適応・脆弱性(約 20 分)

- ・ ハンス=オッター・ポーター (IPCC 第 2 作業部会共同議長)※1

◆ 基調講演 3 IPCC AR6 WG1 報告書～自然科学的根拠(約 15 分)

- ・ ヴァレリー・マツソン=デルモット(IPCC 第 1 作業部会共同議長)※1※2

◆ パネルディスカッション(約 90 分)

▽モデレーター

- ・ 田辺清人(IPCC インベントリータスクフォース共同議長)

▽パネリスト

- ・ ハンス=オッター・ポーター

(IPCC 第 2 作業部会共同議長)※1

- ・ 江守正多

(IPCC AR6 WG1 第 1 章 LA/東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立環境研究所地球システム領域上級主席研究員)

- ・ 高薮出

(IPCC AR6 WG1 第 10 章 LA/気象庁気象研究所気候・環境研究部第 1 研究室主任研究官)

- ・ 平林由希子

(IPCC AR6 WG2 第 4 章 LA/芝浦工業大学工学部土木工学科教授)

- ・ 長谷川利拡

(IPCC AR6 WG2 第 5 章 CLA/農業・食品産業技術総合研究機構農業環境研究部門・気候変動適応策研究領域長)

※1 日英同時通訳あり。

※2 リモート参加での講演。

なお、プログラムには多少の変更の可能性あります。

問合せ先 大気海洋部 気象リスク対策課 気候変動対策推進室 須藤、町田
電話 03-6758-3900 (4110、4113)